

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム てらの桜園

作成日：平成 28年 3月 6日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 ・ 4	・行事や避難訓練時などでしか地域との関係性がなく、もっと情報を発して深い関係性を築く必要がある。 ・その要として運営推進会議の内容をもっと深い物にする必要がある。	・地域との交流の回数を増やせるようにする。 ・運営推進会議にて、意見や要望を多く出よう、有意義な会議にしていく。	・ここでの生活を知って頂き、理解して頂くような広報誌を発行し配布する。 ・運営推進会議に、ご利用者や現場職員を加え、活性化を図る。	12ヶ月
2	6 ・ 7	・何が虐待で、何で虐待が起きるのか、全職員共通の理解を深め、防止の徹底が必要。 ・センサーマットについても、定期的に必要性を話し合い、なくても安全に生活して頂けるよう考える。	・虐待が起きるまでを理解し、不適切な介護についても考え、防止して行きたい。 ・センサーマットに頼らずとも安全な生活を見出したい。	・全職員で、虐待が起きたケースを検証し、原因を探り、防止策を話し合う。 ・職員同士の関係性を深め、注意し合う。 ・定期的にセンサーマットの必要性についてカンファレンスを開く。	12ヶ月
3	24	・ご利用者や、ご家族より得た情報を全職員把握し、それをサービスに反映できていない。	・全職員が、ご利用者の生活歴を把握し、サービスにつなげて行きたい。	・今使用している、生活歴記入ファイルをさらに活用し、全職員情報の把握に努める。また、それをアセスメントに活用する。	12ヶ月
4	10	・面会の少ないご家族からは、意見や要望を聞く機会が少なく、ご利用者への意向につながる事が少ない。	・いつでも、意見や要望を言ってもらえるような関係を築く。	・ご利用者のここでの生活を、もっと知ってもらえるよう広報などを発行し、意見や要望を聞き出せるよう努める。	12ヶ月
5	33 ・ 34	・緊急時の対応を全職員が、問題なく行えるよう技術、知識を身につける。 ・また重度化、ターミナルケアについても、支援方法を統一していく。	・日常的に起こる事故や急変などに、落ち着いて適切な対応をとれるようにする。 ・ご利用者の変化に、全職員が統一したサービスを行えるようにする。	・事故対策委員会メンバーを中心に、事故や防止策を検討し、全職員対応できるよう努める。 ・マニュアルを随時検討し、常に最善な対応を行えるよう努める。	12ヶ月
6	54	・生活感を出し、その人らしい暮らしが出来る居室作りが必要。	・居室での時間を楽しめるような空間を作る。	・居室担当者を中心に、趣味、嗜好を聞きだし居室作りに反映する。 ・馴染みな物や思い出の品を持ち込んで頂けるよう、家族に協力を得る。	12ヶ月